



令和6年1月19日  
帯広開発建設部

## 受賞団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第11回コンクールの優秀賞12団体、奨励賞18団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールを開催し、選考の結果、**全道63団体（56市町村）の応募の中から、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定**しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞12団体、奨励賞18団体）を表彰します。

なお、優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定します。

1. 「わが村は美しくー北海道」運動の概要について 【別紙1】を参照願います
2. 第11回コンクールの概要について 【別紙2】を参照願います
3. 帯広ブロック受賞団体の活動概要について 【別紙3】を参照願います  
優秀賞・・・北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）  
優秀賞・・・ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）  
奨励賞・・・株式会社 地恵贈（池田町）  
奨励賞・・・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）  
奨励賞・・・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

### 【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g7000000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html)



【問合せ先】 北海道開発局 帯広開発建設部 電話（代表）0155-24-3192

土地改良情報対策官 木村 信博（内線 441）

土地改良情報対策官付土地改良情報係長 日戸 進（内線 283）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



# 「わが村は美しく —北海道」運動 とは？



## Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



**「景観」の形成**

【景観】  
地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

## 魅力ある活気に満ちた 北海道

【人の交流】  
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

活発な  
「人の交流」  
づくり



「地域特産物」  
のブランド化



【地域特産物】  
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

- **参加しよう—中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう—活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう—北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

## 取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

### 第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています



### 第10回コンクール 大賞受賞団体



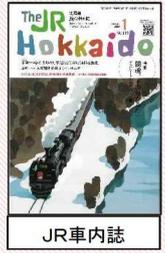
R5年度 北のなのはな会【安平町】



R6年度 ほんべつ豆まかナイト 実行委員会【本別町】

### 多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou/sin/ud49g700000emhm.html>  
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信  
→活動団体への情報提供  
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌  
→「The JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR  
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- パネル展でPR (北洋銀行との連携)
- Facebook(フェイスブック)の取組  
→活動団体の最新情報を広く発信



FacebookはこちらのQRコードからご覧頂けます。





令和6年1月19日  
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールの受賞団体を決定  
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に1度コンクールを開催しており、今回で11回目となります。

第11回コンクールには全道から63件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

### ○第11回コンクールの概要について

#### 1. コンクールの応募状況等について

##### (1) 応募件数

全道56市町村から63件（団体）の応募

##### (2) 審査経過

▶令和5年1月～令和5年6月：募集

▶令和5年7月～10月：全道10ブロック※での現地調査  
（ブロック審査委員会による全応募団体の調査）

▶令和5年7月～11月：ブロック審査委員会での審査  
（現地調査の結果から受賞団体を選考）

※各開発建設部の所管を1ブロックとしている。

#### 2. 受賞団体について

##### (1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰） [12団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）  
（受賞団体名は順不同です）

## 【別紙2】

### (2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [ 18 団体 ]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

#### ◇札幌ブロック [ 3 団体 ]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）  
（恵庭市）

#### ◇函館ブロック [ 2 団体 ]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

#### ◇小樽ブロック [ 1 団体 ]

- ・しりべし女子会（後志管内）

#### ◇旭川ブロック [ 2 団体 ]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

#### ◇室蘭ブロック [ 2 団体 ]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

#### ◇釧路ブロック [ 1 団体 ]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

#### ◇帯広ブロック [ 3 団体 ]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

#### ◇網走ブロック [ 2 団体 ]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

#### ◇留萌ブロック [ 1 団体 ]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

#### ◇稚内ブロック [ 1 団体 ]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）



帯広市



「十勝をPRできる宇宙日本食」を開発します

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
**北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会**  
**【帯広市】**

十勝の新たな産業である宇宙産業と十勝農業との融合を日指して

**【はじまりは？】**

2021年4月に十勝の大樹町が中心となり、地域と宇宙を繋ぐ「北海道スペースポート」構想が本格的に稼働しました。JAXA及び宇宙食開発実績のある地元企業から「宇宙日本食」開発の誘いを受け、私たちは食を学ぶ農業高校生として、最高レベルの品質管理が求められる宇宙日本食開発の取組を始めるとともに、十勝産原料にこだわることで、宇宙日本食をとおして十勝農業のPRを目指します。

**【おもな活動】**

- 宇宙日本食開発の取組経緯は以下のとおり
- ・2022年度：外部連携の確立と宇宙食レシピの完成  
初年度は、外部連携する企業や団体を確立して活動の基盤づくりを行いました。また、宇宙食レシピ「クリームシチュー」を完成させました。
- ・2023年度：工場での宇宙食製造と保存試験開始  
工場での製造に向けて殺菌方法を確立し、1年6ヶ月の保存試験を開始しました。その間、宇宙日本食審査に向けての資料作成を行いました。
- ・2024年度以降：宇宙食の審査と製品提供  
審査に向けた対応とともに製品普及のためのPR活動を行います。審査の結果、宇宙日本食の認証を得ましたら、宇宙ミッションに製品を提供します。



私たちの宇宙日本食候補をプレゼンテーション  
 連携企業等との会議

**【ここが自慢】**

**【高校生が作る宇宙日本食を宇宙へ】**

私たちは、最高レベルの品質管理が求められる宇宙食の開発、また、スペースポートの訪問や宇宙サミット等の会議の参加をとおして新規ビジネス機会の創出、SDGsへの貢献への期待の大きさを再確認しました。

試算では、2040年に110兆円まで拡大する宇宙産業に、次代を担う私たち高校生が参入する意義は大きいと考えています。

地域企業やJAXAの協力を得て必ず開発している宇宙日本食を宇宙に届けます。

私たちの「OBINOH Space Food Project」は宇宙に向けて着実に進んでいます。

**連絡先**

代表者名：佐藤 裕二さん／設立：2021年／会員：14名

住所：北海道帯広市稲田町西1線9番地

電話番号：0155-48-2102

F A X：0155-48-3052

E-mail：kyo-114go2@hokkaido-c.ed.jp

U R L：



優秀賞

広尾町



広尾町を訪問した全ての人に自然や産業を楽しんでもらいたい

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

ピロロツーリズム推進協議会

【広尾町】

広尾町の一次産業・景観の魅力を体験型観光により提供

【はじまりは？】

「広尾町の魅力を伝えるために何かできないか？」との思いを共有するメンバーで、令和元年にピロロツーリズム推進協議会を立ち上げました。

酪農と漁業と林業の一次産業を繋ぎ、体験型観光や地域の海産物を使った商品開発などを通じて広尾町の魅力を伝え、みんなが広尾町に来たくなるきっかけづくりをしています。

【おもな活動】

ピロロツーリズム推進協議会では、一次産業や景観資源を活用した体験型観光プログラムの企画・運営を活動の軸とし、広尾町産食材を活かした特産品開発及びプロモーション、ワークショップの企画・運営のほか、地域ガイドブックの作成など、多様な取組を行っています。

- ・酪農・漁業・林業体験
- ・地域特産品の開発（サンタのつぶやき、星屑昆布）
- ・地域ガイドブック（PIRUY＜ピルイ＞）の作成
- ・体験型観光でのワークショップ



サンタのつぶやきの販売

※「サンタのつぶやき」とは、たこ焼きの具材を広尾産の「つぶ」に置き換えた商品

【ここが自慢】

【広尾町には多くの“魅力”があります】

体験型観光や特産品開発をはじめ、漁業に関わる一連の取組が評価され、第28回 全国青年・女性漁業者交流大会、第5分科会「多面的・環境保全部門」で農林水産大臣賞を受賞しました。

広尾町には、日高山脈が織りなす景観や多様な一次産業といった地域資源が存在しています。広尾町の魅力を多くの人に伝えるために、これからも活動を展開していきます。協議会の活動がきっかけで広尾町への移住にまで繋がれば嬉しいです。



漁業体験（体験ツアー）



星空鑑賞（体験ツアー）

連絡先

代表者名：菊地 亜希さん／設立：2019年／会員：7名

住所：北海道広尾郡広尾町字野塚989番地

電話番号：

F A X：

E-mail：pirorokikaku@gmail.com

U R L：https://pirorokikaku.com/



池田町



農産物加工を通じた地域の活性化に取り組んでいます

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

株式会社 地恵贈

【池田町】

安全・安心な商品を提供し消費者の信頼獲得に努めたい

### 【はじまりは？】

平成23年度に、「より消費者の顔が見えるような活動をしたい」という思いから、畑作及び肉牛を営む一方で、急速冷凍庫・貯蔵施設などを備えた加工施設を自宅横に構築し、自らが生産したじゃがいも・かぼちゃなどの加工品の販売を始めました。

### 【おもな活動】

加工品の販売以外に、地域の活性化や食育に関する様々な取組を展開しています。

- ・池田町内のイベントでの出店 (いけだワイン祭りなど)
- ・小学校の学校給食に加工食品を提供



いけだワイン祭りでの出店



学校給食に提供されたいも団子

### 【ここが自慢】

#### 【手づくりがこだわりです】

地恵贈という名前は、「地の恵みの贈り物」の意味です。

自ら生育を管理して生産した農産物を全て手づくりで加工していますので、安全・安心な商品として自信を持っています。

地元である池田町はもとより道内の飲食店や出荷している十勝地域のスーパーなどの販売店からも好評を得ています。

農業の6次産業化や地域での食育活動を通じて地域の活性化にも取り組んでいます。



加工品の販売状況

#### 連絡先

代表者名：多田 英俊さん／設立：2011年／会員：3名

住所：北海道中川郡池田町字千代田615番地

電話番号：015-572-8333

F A X：015-572-8338

E-mail：

U R L：



本別町



本別産の大豆から開発した「豆乳クレンジングジェル」

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
**北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班**  
**【本別町】**

豆の魅力を再発見

## 【はじまりは？】

豆のまち本別をPRするため、本別町産の大豆を使い「食」以外の魅力的な商品を開発することで、本別町の「豆の強み」を活かせるのではないかと、の発想から、豆の食以外の魅力の再発見を理念に、新たな用途の開発を目的に活動を始めました。

## 【おもな活動】

豆以外の商品の候補として、石鹸・シャンプー・化粧崩れ防止ミストなど様々な物を検討しました。

検討の結果、最も豆成分の含有量を多くできる「豆乳クレンジングジェル」を開発することになりました。

開発にあたり、エシカル商品を製造している道内外の企業に相談しました。原材料となる豆乳は、本別町の農家の方から提供を受けた大豆から、本別町の「豆ではりきる母さんの会」のお力を借りて豆乳を製造しました。

その豆乳をクレンジングジェルの商品開発に賛同いただいた富良野市の企業へ提供し、豆乳100%天然由来の商品「豆乳クレンジングジェル」の試作品が完成しました。



企業と商品開発の打合せ

## 【ここが自慢】

## 【私たちの活動が高く評価されました】

私たちは、「豆乳クレンジングジェル」の開発を通じ、農家の方に対する大豆の提供依頼のほか、豆乳の製造や商品開発の関係者に対しても自らが協力依頼を行うことで、コミュニケーション能力の向上にも役立っています。

完成した「豆乳クレンジングジェル」は、本別町議会にも議会提案という形で、取組や活動の趣旨を説明するとともに、試作品を使用してもらった議員の方々から高い評価をいただきました。

今後は、商品化を目指した活動を展開できればと考えています。



本別町議会へ提案活動

## 連絡先

代表者名：松田 素寛さん／設立：2021年／会員：3名

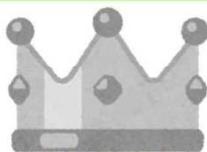
住所：北海道中川郡本別町弥生町49番2号

電話番号：0156-22-2052

F A X：0156-22-2052

E-mail：honbetsu-jimu2@hokkaido-c.ed.jp

U R L：http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp/?page\_id=171



奨励賞

士幌町



乳製品の消費拡大に貢献します

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
 北海道士幌高等学校 乳加工専攻班  
 【士幌町】

乳製品による地域の魅力の再発見と賑わいの創出に貢献

【はじまりは？】

士幌町は人口減少により、街の賑わいの低下やこれまで続けてきた農村文化の維持が重要課題となっています。地域との結びつきや伝統文化の見直しなど、私たちができることを発信し、地域の魅力発信、健康で豊かな街づくりや地域づくり及び消費が低迷している乳製品の消費拡大に貢献したいと考えています。今回の活動では、士幌町の基幹産業である酪農をPRする手段として、校内で育てた牛の生乳を使用したスイーツの開発に取り組みました。

【おもな活動】

現在は、士幌町産の大豆を使用したティラミス風のスイーツ「キナミス」を開発しています。商品開発の助言を地元の喫茶店からいただいたり、道の駅でのイベントでは、地域の方々と連携して出品しています。

SNSでの情報発信、道の駅でのイベント出品、キルギス共和国農業技術カレッジとの連携など、今後も乳製品加工を通じた様々な取組を展開します。



「キナミス」の開発

【ここが自慢】

【乳製品を通じた交流を行っています】

士幌町で行われているお祭りでは、私たちの商品の販売をとおして一般の方々との交流を図っています。道の駅でのスイーツコンテストではお祭りの盛り上がりにも貢献できたと思います。

また、給食事業では町内の小中学校に600食のヨーグルトを提供しています。

学校内に「シーベリー」の木があったことがきっかけでキルギス共和国農業技術カレッジと交流関係を築き、現在シーベリーの実を使った「杏仁豆腐」を開発中です。

私たちの開発した「杏仁豆腐」がキルギスでも売れるようになれば嬉しいです。



道の駅でのスイーツコンテスト

連絡先

代表者名：齊藤 里奈さん／設立：2013年／会員：5名

住所：北海道河東郡士幌町字音更21番地15

電話番号：01564-5-3121

F A X：01564-5-4130

E-mail：shihoronoujyoubu@gmail.com

U R L：http://shihoro-highschool.com